

# トムス ヤリス フロントディフューザー

このたびはトムス フロントディフューザー（以下ディフューザー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

**適応車種** 本製品は以下の車種に対応しています。（2020年8月現在）

トヨタ ヤリス MXP11#/MXPA11#/KSP210 2020年2月～ トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

**取り付け上のご注意** 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

1. ディフューザー取り付け作業は、必ず作業者2名で行ってください。
2. ディフューザー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。  
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。  
ディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
4. 塗装に際しては以下の点にご注意ください。  
(詳しくは「フロントディフューザー素地品の塗装手順」を参照の事)  
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド（細目以上）で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
5. 脱脂作業を行う際は、綺麗なウエスを使用してホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）を使用してください。  
上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。  
ボディーコーティング等の下地処理剤やパーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。  
正しく脱脂が出来ず、浮きや剥がれの原因となります。
6. 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼付けを行ってください。
7. 両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後（24時間以内を目安）の洗車は行わないでください。  
両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
8. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
9. ディフューザー装着により、標準バンパーより全長約50mm長くなり、地上高約25mm低くなります。
10. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
11. 塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。
12. 本製品は、1年・20,000kmの保証を実施いたします。（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）  
※保証の詳細はトムスパーツカタログサイト〈<https://www.tomsracing.co.jp/sv/products/warranty/index.php>〉保証についてをご覧ください。

**構成部品** 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【フロントディフューザー構成部品】



- ①フロントディフューザー（センター）×1
- ②フロントディフューザー（サイド）左右 ×1set
- ③両面テープ（t0.8×10mm×3m）×1
- ④PACプライマー ×1
- ⑤アプセットボルト（M5×16 P=3）×7
- ⑥フランジナット（M5）×7
- ⑦トムスエンブレム ×1

## 取付要領



1. フロントバンパー下側の車両ビス6本を取り外す。  
(左図参照)  
※図は助手席側。運転席側同作業。  
  
※取り外した車両ビスは再利用する。



2. ①・②ディフューザーに③両面テープを貼り付ける。  
(左図参照)

### アドバイス

両面テープを貼り付ける箇所を脱脂し、油分等を十分に  
取り除く。

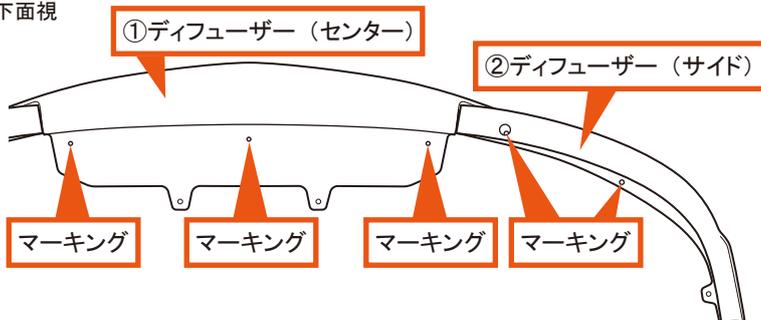
### 注意！

両面テープ貼り付け面は車両に合わせたとき両面テープ  
が見えない箇所に貼り付ける。



3. 車両ビス 2 本と養生テープ等を使用し①ディフューザー  
(センター) を車両に仮付けし、各部位に問題が無いこ  
とを確認する。
4. 車両ビス 1 本と養生テープ等を使用し、②ディフューザー  
(サイド) を車両に仮付けし、各部位に問題が無いこと  
を確認する。  
※図は助手席側。運転席側同作業。

下面視



5. ①ディフューザー (センター) の前端 3 箇所と②ディフュー  
ザー (サイド) の前端片側 2 箇所の取り付け穴をマジ  
ック等でマーキングする。  
※図は助手席側。運転席側同作業。

### 注意！

マーキングが正しく行われないとディフューザーが正しい  
位置に取り付けられず脱落の原因となる。



6. 両面テープ接着面を確認し、マスキングテープ等でマーキングしたら、①・②ディフューザーを取り外す。  
両面テープ貼り付け位置を脱脂処理し、④PACプライマーを塗布する。

**注意！**

脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため、接着面の脱脂処理は十分に行う。

**注意！**

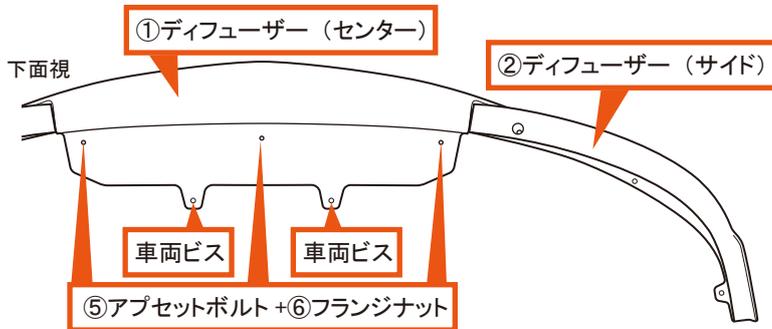
塗布範囲は、両面テープ貼り付け面からのみだしがないように気を付けて作業を行う。  
※必ずPACプライマー取り扱い説明書を確認してから作業する事。



7. 下側のマーキング7箇所へ6.5φドリルで穴開けをする。  
※図は助手席側。運転席側同作業。



8. ①ディフューザー（センター）の離型紙を50mm程剥がし、マスキングテープ等で①ディフューザーに貼り付ける。  
①ディフューザー（センター）を車両にあてがい、車両ビス⑤アプセットボルト、⑥フランジナットを仮止めする。  
再度各部位に問題が無い事を確認した後に、両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜きつつ剥がし圧着をし、車両ビス、⑤アプセットボルトを本締めをする。

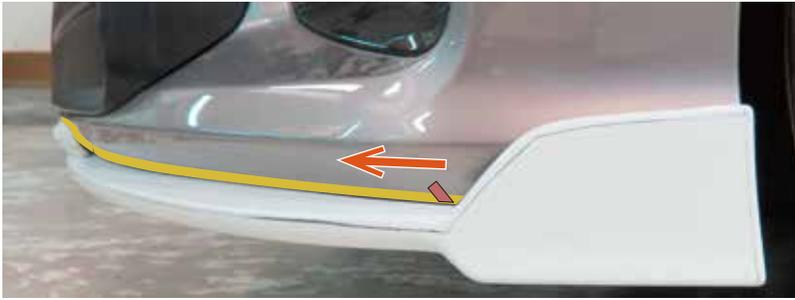


**注意**

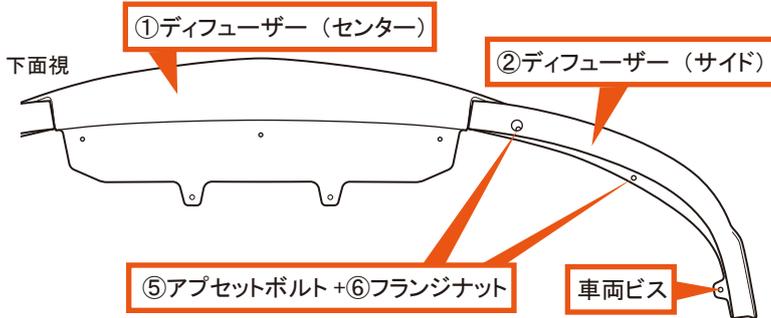
両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度 [ 49N (5kgf/ cm<sup>2</sup>) ] で行なう。

両面テープ貼り部  
全体をまんべんなく  
圧着する。





9. ②ディフューザー（サイド）の離型紙を後側から50mm程剥がし、マスキングテープ等で②ディフューザーに貼り付ける。  
 ②ディフューザー（サイド）を車両にあてがい、車両ビス、⑤アプセットボルト、⑥フランジナットを仮止めする。  
 再度各部位に問題が無い事を確認した後に、両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜きつつ剥がし圧着をし、車両ビス、⑤アプセットボルトを本締めをする。  
 ※図は助手席側。運転席側同作業。



10. ①ディフューザー（センター）の凹み部を脱脂処理し、⑦トムスエンブレムを貼り付け、車両のマスキングテープを剥がす。

（お問い合わせ先）  
 株式会社 トムス  
 TEL; 03-3704-6191  
 月～金 AM 9:30 ~ PM 6:00

**TOM'S**

# フロントディフューザー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

**塗装後のクレームには応じません。**

## 構成部品

- ①フロントディフューザー（センター） × 1
- ②フロントディフューザー（サイド）左右 × 1set
- ③両面テープ（t0.8×10mm×3m） × 1
- ④PACプライマー × 1
- ⑤アプセットボルト（M5×16 P=3） × 7
- ⑥フランジナット（M5） × 7
- ⑦トムスエンブレム × 1

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

## I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. 塗装ムラ・ピンホールの発生を防止する為、塗装前に表面の水研ぎ(ゲルコート的光沢が消えるまで)を行い、サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

### 注意！

本製品はFRP製品のため適切な塗料を使用する。

### 注意！

40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。